

2024年度父母説明会

～ 臨床工学科固有の教務事項について～

神奈川工科大学
健康医療科学部 臨床工学科

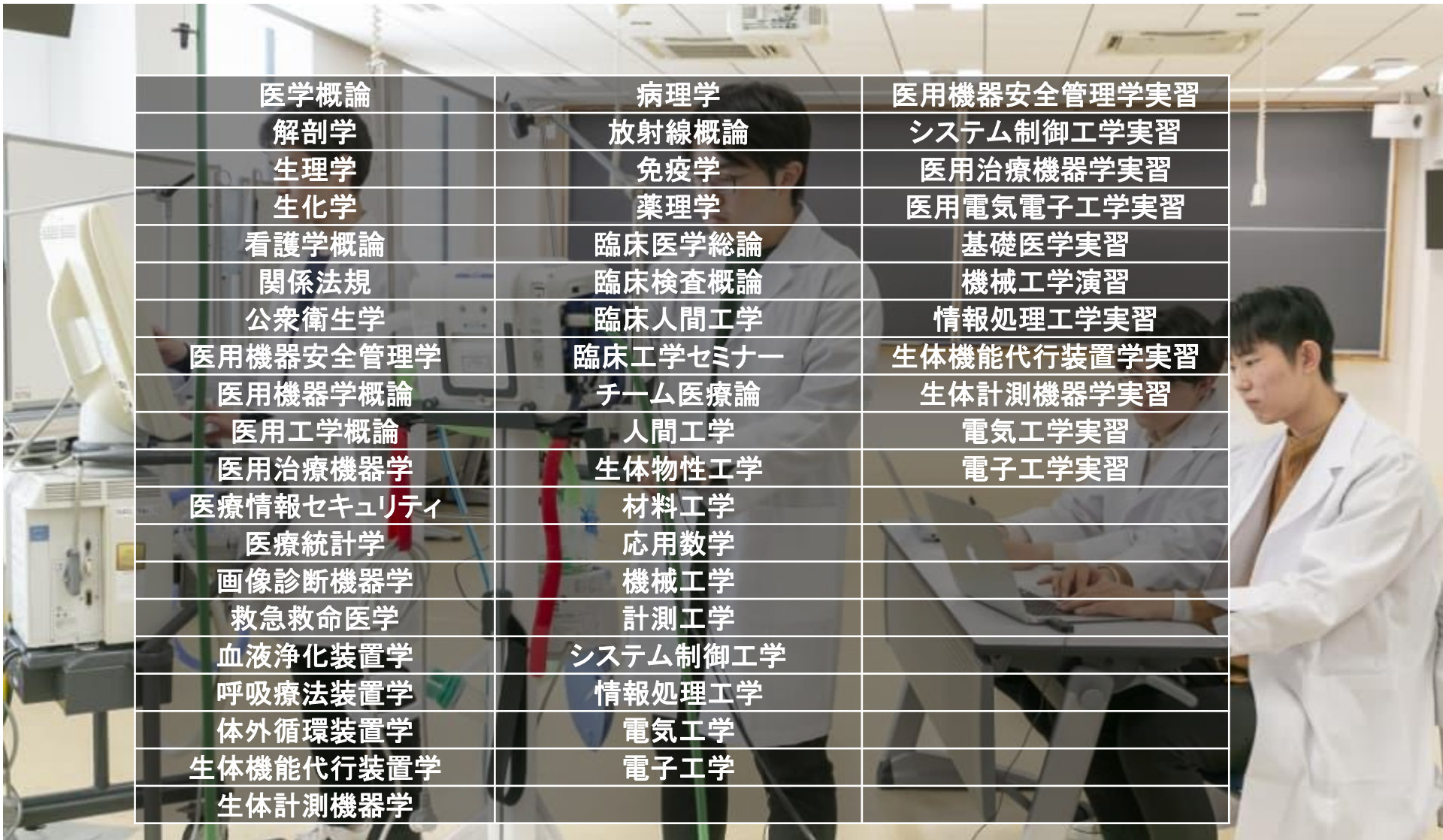
本資料の内容

健康医療科学部 臨床工学科 における、教務関連特記事項についてご説明いたします。



本学科は臨床工学技士法第14条第1号の規定に基づいた臨床工学技士養成学科であり、学生は臨床工学技士国家試験合格を目指しております。

臨床工学科での学び



| | | |
|------------|----------|-------------|
| 医学概論 | 病理学 | 医用機器安全管理学実習 |
| 解剖学 | 放射線概論 | システム制御工学実習 |
| 生理学 | 免疫学 | 医用治療機器学実習 |
| 生化学 | 薬理学 | 医用電気電子工学実習 |
| 看護学概論 | 臨床医学総論 | 基礎医学実習 |
| 関係法規 | 臨床検査概論 | 機械工学演習 |
| 公衆衛生学 | 臨床人間工学 | 情報処理工学実習 |
| 医用機器安全管理学 | 臨床工学セミナー | 生体機能代行装置学実習 |
| 医用機器学概論 | チーム医療論 | 生体計測機器学実習 |
| 医用工学概論 | 人間工学 | 電気工学実習 |
| 医用治療機器学 | 生体物性工学 | 電子工学実習 |
| 医療情報セキュリティ | 材料工学 | |
| 医療統計学 | 応用数学 | |
| 画像診断機器学 | 機械工学 | |
| 救急救命医学 | 計測工学 | |
| 血液浄化装置学 | システム制御工学 | |
| 呼吸療法装置学 | 情報処理工学 | |
| 体外循環装置学 | 電気工学 | |
| 生体機能代行装置学 | 電子工学 | |
| 生体計測機器学 | | |

卒業、国家試験受験に向けた様々な要件

- 目標（標準）修得単位数および卒業要件
 - ・ 入学から卒業までの標準的な修得単位数
- 臨床実習履修要件
 - ・ 4年次において臨床実習を履修するための要件
- 卒業研究履修要件（4年次進級要件）
 - ・ 4年次へ進級し卒業研究を履修するための要件
- 国家試験受験資格要件
 - ・ 臨床工学技士国家試験の受験資格要件

目標（標準）修得単位数および卒業要件

- 本学科における入学から卒業までの標準的な累積修得単位モデル



カリキュラム編成により、2022年度までの入学生と、2023年度以降の入学生にはその数に差があります。

2022年度までの入学生における 目標（標準）修得単位数および卒業要件

- 本学科における入学から卒業までの標準的な累積修得単位数
 - ・ 1年次終了時－43単位以上
 - ・ 2年次終了時－87単位以上
 - ・ 3年次終了時－126単位以上
 - ・ 4年次終了時－136単位以上（卒業要件）

卒業要件・・・卒業するために必要な単位数や条件科目が定められています。

1年間で43単位程度の修得が標準

- 本学は前期、後期の2学期制
- 各学期22単位程度の単位修得が標準（必要）

2023年度以降入学生の 目標（標準）修得単位数および卒業要件

- 本学科における入学から卒業までの標準的な累積修得単位数
 - ・ 1年次終了時－45単位以上
 - ・ 2年次終了時－85単位以上
 - ・ 3年次終了時－116単位以上
 - ・ 4年次終了時－129単位以上（卒業要件）

卒業要件・・・卒業するために必要な単位数や条件科目が定められています。

1年間で43単位程度の修得が標準

- 本学は前期、後期の2学期制
- 各学期22単位程度の単位修得が標準（必要）

臨床実習履修要件

- 4年次に「臨床実習」を履修するためには、**3年次前期までの要件科目の単位修得が必要です。**

※本学科は臨床工学技士法第14条**第1号の規定**に基づいた臨床工学技士養成学科であり、**臨床実習を履修できない場合**、卒業要件を満たす単位を修得しても、**卒業ができません。**

2022年度入学までの 臨床実習履修要件

- 4年次に「臨床実習」を履修するためには、**3年次前期までの以下の要件科目18科目の単位修得が必要です。**

医用工学概論 生体計測機器学Ⅰ 生体計測機器学Ⅱ
生体計測機器学実習 医用機器学概論
医用治療機器学Ⅰ 医用治療機器学Ⅱ 医用治療機器学実習
生体機能代行装置学Ⅰ 生体機能代行装置学Ⅱ
血液浄化装置学 呼吸療法装置学 体外循環装置学
医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 関係法規
臨床医学総論Ⅰ 臨床医学総論Ⅱ

※ 2023年度入学生は卒業研究履修の資格と同じです。

卒業研究履修要件（4年生進級要件）

3年次終了までに以下の条件が成り立たない場合、4年生に進級できません。

- 2022年度までの入学

：3年次終了までに114単位以上を修得
（スタディスキルを含む共通基盤教育科目17科目以上、臨床実習の条件科目18科目の修得が必要）

※ 2020年度入学生から卒業研究履修に必要な単位数は114単位以上となり、臨床実習要件18科目が条件科目に含まれています。

2023年度以降入学生の 卒業研究履修要件

必要単位数112単位に条件科目（以下18科目と共通基盤科目3科目）を修得していない場合は4年間を超えた履修計画が必要になります。

医用工学概論　生体計測機器学実習　医用機器学概論
医用治療機器学Ⅰ（基礎）　医用治療機器学Ⅱ（発展）
医用治療機器学実習　生体計測機器学Ⅰ（基礎）
生体計測機器学Ⅱ（発展）　生体機能代行技術学Ⅰ（基礎）
生体機能代行装置学Ⅱ（発展）　血液浄化技術学
呼吸療法技術学　体外循環技術学　医療安全管理学
医療安全管理学実習　関係法規
臨床医学総論Ⅰ　臨床医学総論Ⅱ

「卒業研究」の内容

- ✓ 各研究室配属され、担当教員の指導のもと卒業研究を遂行して卒業論文を提出する
- ✓ 卒業論文の発表を行い審査を受ける
- ✓ 国家試験学内模擬試験、全国統一模擬試験、国家試験対策演習を行い、卒業判定試験で一定水準の成績を収める（2022年度までの入学）

国家試験受験資格要件 (2022年度までの入学)

臨床工学技士国家試験を受験するためには、以下の9科目の単位修得が必要です。

医療統計学、人間工学、臨床人間工学、
医用電気電子工学実習、放射線概論、臨床検査概論、
救急救命医学、画像診断機器学、チーム医療論

※ 上記の国家試験受験要件9科目は、臨床工学科の卒業要件（136単位）に含まれます。選択科目であっても実質的には必修の科目となります。

国家試験受験資格要件 (2023年度以降入学)

臨床工学技士国家試験を受験するためには、以下の9科目の単位修得が必要です。

医療統計学、人間工学、臨床人間工学、医用電気電子工学実習、放射線概論、臨床検査概論、救急救命医学、画像診断機器学、チーム医療論

※ 上記の国家試験受験要件9科目は、臨床工学科の卒業要件（129単位）に含まれます。選択科目であっても実質的には必修の科目となります。

必要な科目が不合格になった場合

次年度以降に再履修をすることとなります。
しかし、その科目が次年度の科目と同じ時間になる場合、履修は出来ません。原則、4年での卒業は難しくなります。

不合格になった場合、必ず担任の教員に相談してください。

他学科との共通事項

下記については他学科と共通となります。

- ✓ 授業科目の区分
- ✓ 単位制度（学修の量）
- ✓ CAP制度（単位の実質化）
- ✓ 成績評価と出欠席の関係
- ✓ 成績評価の基準
- ✓ GPA制度
- ✓ 成績表の見方

学生支援本部 教務課による、説明動画

“教務関係について <成績（成績表の見方）に関する説明>”
をご参照ください。

おわりに

本内容でご不明な点がございましたら、臨床工学科
教務委員 金 までメールでお問合せください。

Mail: kim@cet.kanagawa-it.ac.jp